

# 農業共済事業特別会計

## 1 業務実績

各共済種目の業務量の前年度比較は、第1表のとおりである。

### (1) 農作物共済

水稲共済引受は、戸数 2,506 戸（対前年度 41 戸増）で、面積 101,888 a（対前年度 1,050 a 増）、引受収量 3,402,195kg（対前年度 12,720kg 増）、共済金額 663,428,025 円（対前年度 14,466,975 円減）となっている。

被害は、被害戸数 173 戸（対前年度 21 戸増）で、被害面積 3,810 a（対前年度 1,134 a 増）、共済減収量 25,906kg（対前年度 10,624kg 減）、共済金支払額 5,051,670 円（対前年度 2,254,330 円減）となっている。

麦共済の引受は、県農作物改良協会の割当による種子用麦のみの栽培であり、戸数 20 戸（対前年度 5 戸増）で、引受面積 2,962 a（対前年度 328 a 増）、引受収量 50,345kg（対前年度 684kg 増）、共済金額 9,404,138 円（対前年度 82,657 円増）となっている。

被害は、被害面積 463 a（対前年度 148 a 増）で、共済減収量 1,700kg（対前年度 10kg 増）、共済金支払額 348,346 円（対前年度 6,554 円減）となっている。これは、降雨による湿害等によるものである。

また、損害防止事業として、市が実施する野生動物防護柵設置事業補助金にかかる財源として、水稲共済損害防止事業助成金交付要綱に基づく連合会負担金と合わせて 1,612,000 円助成している。

第1表 業務量の比較

### 農作物共済

(単位 : 戸・a・kg・円)

共済目的	年産	引 受 状 況					被 害 状 況				
		戸 数	面 積	引 受 収 量	平均単収	共 済 金 額	戸 数	面 積	共済減収量	共済金支払額	
水稲	23	2,506	101,888	3,402,195	477	663,428,025	173	3,810	25,906	5,051,670	
	22	2,465	100,838	3,389,475	480	677,895,000	152	2,676	36,530	7,306,000	
	増減	41	1,050	12,720	△ 3	△ 14,466,975	21	1,134	△ 10,624	△ 2,254,330	
	率	1.7%	1.0%	0.4%	-0.6%	-2.1%	13.8%	42.4%	-29.1%	-30.9%	
麦	24	20	2,962	50,345	243	9,404,138					
	23	15	2,634	49,661	269	9,321,481	4	463	1,700	348,346	
	22	20	2,517	50,050	268	9,590,324	2	315	1,690	354,900	
	増減	5	328	684	△ 26	82,657	2	148	10	△ 6,554	
	率	33.3%	12.5%	1.4%	-9.7%	0.9%	100.0%	47.0%	0.6%	-1.8%	

麦については共済の引受期間が2年度にわたるため、23年度の引受状況に関する数値は24年産麦の数値で、23年度の被害状況の数値は2年度の引受に対するものである。

## (2) 家畜共済

乳牛の引受は、農家戸数が2戸(対前年度と変わらず)で、頭数は124頭(対前年度4頭減)、1頭当たり共済金額99,217円(対前年度7,381円増)となっている。

被害は、病傷事故が26件(対前年度34件減)で、共済金支払額が654,700円(対前年度325,320円減)、死廃事故が14件(対前年度4件減)で、共済金支払額が1,394,148円(対前年度453,808円増)となっている。これは、昨夏の猛暑等によるものである。

肉用牛(肥育)の引受は、農家戸数は6戸(前年度同数)、頭数が898頭(対前年度57頭減)、1頭当たり共済金額が157,507円(対前年度2,220円増)となっている。

被害は、病傷事故が132件(対前年度33件減)で、共済金支払額が1,789,690円(対前年度59,470円減)。死廃事故が34件(対前年度16件増)で、共済金支払額が4,098,821円(対前年度1,518,560円増)となっている。

肉用牛(その他)の引受は、農家戸数は18戸(前年度同数)、頭数が453頭(対前年度33頭減)、1頭当たり共済金額が159,555円(対前年度13,176円増)となっている。

被害は、病傷事故が151件(対前年度51件減)で、共済金支払額が1,389,430円(対前年度844,680円減)。死廃事故が18件(前年度同数)で、共済金支払額が2,144,393円(対前年度49,186円増)となっている。

一般馬の引受は、農家戸数1戸(前年度同数)で、頭数が17頭(対前年度3頭増)、1頭当たり共済金額が100,000円(前年度と変わらず)となっている。

被害は、死亡事故はなく、病傷事故が5件で共済金支払額が32,570円(対前年度27,720円減)となっている。

また、一般損害防止事業として予防衛生薬剤の配布に257,900円、特定損害防止事業として県連合会へ委託し疾病等予防活動に508,750円を支出している。

## 第1表 業務量の比較

### 家畜共済

(単位：戸・頭・円・件)

共済目的	年度	引 受 状 況				被 害 状 況			
		戸 数	頭 数	共 済 金 額	1 頭 当 り 共 済 金 額	病 傷 事 故		死 廃 事 故	
						件 数	共 済 金 支 払 額	件 数	共 済 金 支 払 額
乳 牛	23	2	124	12,302,890	99,217	26	654,700	14	1,394,148
	22	2	128	11,755,000	91,836	60	980,020	18	940,340
	増減	0	△ 4	547,890	7,381	△ 34	△ 325,320	△ 4	453,808
	率	0.0%	-3.1%	4.7%	8.0%	-56.7%	-33.2%	-22.2%	48.3%
肉（肥 用 育 牛）	23	6	898	141,441,700	157,507	132	1,789,690	34	4,098,821
	22	6	955	148,300,000	155,288	165	1,849,160	18	2,580,261
	増減	0	△ 57	△ 6,858,300	2,220	△ 33	△ 59,470	16	1,518,560
	率	0.0%	-6.0%	-4.6%	1.4%	-20.0%	-3.2%	88.9%	58.9%
肉（そ の 他 牛）	23	18	453	72,278,600	159,555	151	1,389,430	18	2,144,393
	22	18	486	71,140,200	146,379	202	2,234,110	18	2,095,207
	増減	0	△ 33	1,138,400	13,176	△ 51	△ 844,680	0	49,186
	率	0.0%	-6.8%	1.6%	9.0%	-25.2%	-37.8%	0.0%	2.3%
一 般 馬	23	1	17	1,700,000	100,000	5	32,570	0	0
	22	1	14	1,400,000	100,000	1	4,850	0	0
	増減	0	3	300,000	0	4	27,720	0	0
	率	0.0%	21.4%	21.4%	0.0%	400.0%	571.5%	-	-

### (3) 畑作物共済

引受は、戸数 187 戸（対前年度 1 戸増）で、引受面積 7,070 a（対前年度 466 a 増）、引受収量 45,138kg（対前年度 2,925kg 増）、共済金額 70,305,392 円（対前年度 4,705,356 円増）となっている。

被害は、被害戸数 60 戸（対前年度 4 戸減）で、被害面積 1,919 a（対前年度 34 a 増）、共済減収量 2,520kg（対前年度 2,686kg 減）、共済金支払額 3,966,480 円（対前年度 4,238,176 円減）となっている。

## 第1表 業務量の比較

### 畑作物共済

(単位：戸・筆・a・kg・円)

共済目的	年度	引 受 状 況					被 害 状 況			
		戸 数	面 積	引 受 収 量	平 均 単 収	共 済 金 額	戸 数	面 積	共 済 減 収 量	共 済 金 支 払 額
大 豆	23	187	7,070	45,138	87	70,305,392	60	1,919	2,520	3,966,480
	22	186	6,604	42,213	86	65,600,036	64	1,885	5,206	8,204,656
	増減	1	466	2,925	1	4,705,356	△ 4	34	△ 2,686	△ 4,238,176
	率	0.5%	7.1%	6.9%	1.2%	7.2%	-6.3%	1.8%	-51.6%	-51.7%

(4) 園芸施設共済

引受は、戸数24戸(前年度同数)で、引受棟数108棟(対前年度41棟増)、共済金額は44,492,000円(対前年度17,592,000円減)となっている。

被害は、被害戸数6戸(対前年度3戸減)で、棟数8棟(前年度2棟減)、共済金支払額252,387円(対前年度544,284円減)となっている。

第1表 業務量の比較

園芸施設共済

(単位：戸・棟・㎡・円)

共済目的	年度	引 受 状 況				被 害 状 況				
		戸 数	棟 数	面 積	共 済 価 格	共 済 金 額	戸 数	棟 数	損 害 額	共 済 金 支 払 額
プラスチックハウス 内作無し	23	24	108	25,479	44,492,000	35,542,000	6	8	316,668	252,387
	22	24	67	15,161	26,900,000	21,488,000	9	10	1,003,336	796,671
	増減	0	41	10,318	17,592,000	14,054,000	△3	△2	△686,668	△544,284
	率	0.0%	61.2%	68.1%	65.4%	0.7	-33.3%	-20.0%	-68.4%	-68.3%

2 予算の執行状況

(1) 収益的収支

収益的収支の執行状況は、第2表のとおりである。

収益的収入の合計は、予算額90,574,000円に対して、決算額は76,490,176円で、予算額に対して△14,083,824円であり、その執行率は84.5%となっている。

収益的支出の合計は、予算額90,574,000円に対して、決算額は73,951,390円で、不用額は16,622,610円であり、執行率は81.6%となっている。

① 収益的収入

農作物共済勘定では、予算額11,589,000円に対して、決算額は9,508,323円(執行率82.0%)で、予算額に対して△2,080,677円である。

家畜共済勘定では、予算額18,883,000円に対して、決算額は16,426,326円(執行率87.0%)で、予算額に対して△2,456,674円である。

畑作物共済勘定では、予算額16,851,000円に対して、決算額は9,128,696円(執行率54.2%)で、予算額に対して△7,722,304円である。

園芸施設共済勘定では、予算額1,073,000円に対して、決算額は555,524円(執行率51.8%)で、予算額に対して△514,476円である。

業務勘定では、予算額42,178,000円に対して、決算額は40,871,307円(執行率96.9%)で、予算額に対して△1,306,693円である。

## ② 収益的支出

農作物共済勘定では、予算額 11,589,000 円に対して、決算額は 7,846,425 円（執行率 67.7%）で、3,742,575 円の不用額である。

家畜共済勘定では、予算額 18,883,000 円に対して、決算額は 16,426,326 円（執行率 87.0%）で 2,456,674 円の不用額である。

畑作物共済勘定では、予算額 16,851,000 円に対して、決算額は 8,290,059 円（執行率 49.2%）で、8,560,941 円の不用額である。

園芸施設共済勘定では、予算額 1,073,000 円に対して、決算額は 517,273 円（執行率 48.2%）で、555,727 円の不用額である。

業務勘定では、予算額 42,178,000 円に対して、決算額は 40,871,307 円（執行率 96.9%）で、1,306,693 円の不用額である。

第2表 収益的収支の執行状況

(単位：円・%)

区 分	収 入				支 出				当該年度 純 利 益
	予 算 額	決 算 額	増 減	執行率	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	
農作物 共済勘定	11,589,000	9,508,323	△ 2,080,677	82.0%	11,589,000	7,846,425	3,742,575	67.7%	1,661,898
家畜 共済勘定	18,883,000	16,426,326	△ 2,456,674	87.0%	18,883,000	16,426,326	2,456,674	87.0%	0
畑作物 共済勘定	16,851,000	9,128,696	△ 7,722,304	54.2%	16,851,000	8,290,059	8,560,941	49.2%	838,637
園芸施設 共済勘定	1,073,000	555,524	△ 517,476	51.8%	1,073,000	517,273	555,727	48.2%	38,251
業 務 勘 定	42,178,000	40,871,307	△ 1,306,693	96.9%	42,178,000	40,871,307	1,306,693	96.9%	0
合 計	90,574,000	76,490,176	△ 14,083,824	84.5%	90,574,000	73,951,390	16,622,610	81.6%	2,538,786

## 3 経営成績

### (1) 損益状況

損益状況の前年度比較は、第3表のとおりである。

全体で、収益 76,490,176 円に対して費用 73,951,390 円で、差引 2,538,786 円の当年度純利益を計上している。

前年度と比べると、収益は 3,615,945 円、費用も 5,536,321 円減少している。

勘定科目ごとに見ると、農作物共済勘定は、収益 9,508,323 円に対して、費用は 7,846,425 円で、1,661,898 円の当該年度純利益となっている。

家畜共済勘定は、収益・費用とも 16,426,326 円で、当該年度純利益はない。

畑作物共済勘定は、収益 9,128,696 円に対して、費用は 8,290,059 円で、838,637 円の当該年度純利益となっている。

園芸施設共済勘定は、収益 555,524 円に対して費用は 517,273 円で、38,251 円の当該年度純利益となっている。

業務勘定は、収益・費用とも 40,871,307 円で、当該年度純利益はない。

## (2) 収 益

### ① 事業収益

事業収益は 68,142,700 円で、前年度に比べ 4,333,548 円 (△6.0%) 減少している。主に農作物共済勘定の保険金 565,222 円 (△29.5%)、畑作物共済勘定の保険金 3,814,259 円 (△51.7%)、園芸施設共済勘定の保険金 489,855 円 (△68.3%) が減少したことによる。

### ② 事業外収益

事業外収益は 8,347,476 円で、前年度に比べ 717,603 円 (9.4%) 増加している。主に業務雑利益として簿外資産抛出金が 644,060 円増となっている。

## (3) 費 用

### ① 事業費用

事業費用は 73,951,390 円で、前年度に比べ 5,536,321 円 (7.0%) 減少している。これは、平成 23 年は、5 月の台風接近や例年より早い入梅等、低温で推移したことや 9 月の 2 度の台風の接近により、風水害が発生したものの大きな被害がなかったためである。

### ② 事業外費用

事業外費用は、0 円である。

第3表 損益状況の比較（別表のとおり）

## 4 財政状況

貸借対照表の前年度比較は、第4表のとおりである。

### (1) 資産

資産総額は131,503,163円で、前年度末に比べ1,583円増加している。

#### ① 流動資産

流動資産は129,901,763円で、前年度末に比べ283,580円(△0.2%)減少している。主に業務勘定において現金預金が906,253円(△1.7%)減少したことによる。

#### ② 固定資産

固定資産は1,601,400円で、前年度末に比べ285,163円(21.7%)増加している。

有形固定資産(車両及び器具)の減価償却費358,897円の減と連合会拠出金644,060円の増である。

### (2) 負債

負債は69,428,158円で、前年度末に比べ430,810円(△0.6%)減少している。主に家畜共済勘定において、未払い金が614,672円(△37.0%)減少し、業務勘定において一時借入金が283,967円(0.5%)増加したことによる。

固定負債は全て業務引当金4,353,168円で、前年度末と同額である。

### (3) 資本

資本は62,075,005円で、前年度末に比べ432,393円(0.7%)増加している。

剰余金は59,536,219円で、前年度末に比べ1,487,983円(△2.4%)減少している。内訳は、法定積立金が23,516,279円で、前年度末に比べ104,111円(0.4%)増加し、特別積立金が36,019,940円で、前年度末に比べ1,592,094円(△4.2%)減少している。

当該年度末処分剰余金は、2,538,786円となり、1,920,376円(310.5%)増加している。



第4表 貸借対照表の比較（別表のとおり）

## 5 まとめ

決算の概要は前述のとおりである。

農業者の高齢化や耕作放棄地の増加など地域農業の構造変化が続く中、農家の経営は農作物価格の低迷と生産資材価格の高騰等により依然として厳しい状況に置かれている。後継者不足等による生産資源の減少に伴い、本市の農業共済事業規模は年々縮小傾向にある。共済金額は 1,006,403 千円で前年度（1,006,900 千円）と比較し 0.05%（497 千円）の減少でほぼ前年並みである。

一方被害の発生状況では、共済金支払額は、5月の台風の接近や例年より早い入梅等で低温で推移したことや9月の2度の台風接近による風水害の発生や、昨年に引き続き獣害の発生等により水稻で 5,052 千円（対前年度比 $\Delta$ 2,254 千円・ $\Delta$ 30.9%）、麦で 348 千円（前年度対比 6.6 千円・1.8%）、大豆で 3,966 千円（対前年度比 $\Delta$ 4,238 千円・ $\Delta$ 51.7%）となっている。また、家畜では死廃事故で 7,637 千円（対前年度比 2,020 千円、36.0%増）となり、病傷事故では 3,866 千円（対前年度比 $\Delta$ 1,202 千円・ $\Delta$ 23.7%）となった。施設においては、5月の台風の影響はあるものの雪害による被害はなく 252 千円（対前年度比 $\Delta$ 544 千円・ $\Delta$ 68.3%）で大幅な減となっている。

損害防止事業については、水稻では市が助成する損害防止事業への費用助成や適期防除を促進するための病害虫発生状況調査の実施、家畜共済では予防衛生措置や多発する疾病に対して予防薬の配布等に努められているが、近年は気象に左右されることが多いことから、さらに関係機関との連携を図り病害虫発生状況等の情報提供など被害の未然防止の啓発に一層努められたい。

経営状況については、前年度と比べ純利益が 2,539 千円（対前年度比 1,920 千円、310.5%増）となっている。勘定別にみると、当該年度純利益は農作物共済勘定で 1,662 千円、畑作物共済勘定で 839 千円、園芸施設共済勘定で 38 千円、家畜共済勘定と業務勘定では純利益はない。これにより、法定積立金と特別積立金は、全体で 1,488 千円の減となっている。

今後とも損害防止事業の推進等により健全な財政運営を図られるとともに、任意加入の推進を図り「災害による損失の補てんと損害の未然防止」の NOSAI 制度の機能を十分に発揮し、農業災害補償法の趣旨に添った加入者の利便性を高める損害補填の充実に努められたい。